

# 平成 30 年度 歴楽講座 第 9 回




## 戦国の城の見方入門(2)


主催：手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会

日本全国で4～5万という数の城郭がありますが、そのうち千葉県には1千を越える数の城郭があります。その多くが戦国時代の城です。戦国時代に発達したとはいえ、中世の城はどのように変遷してきたのでしょうか。山城、平城、平山城といった城の区分がありますが、具体的にどのような場所に、どのような城が築かれたのでしょうか。地面から盛り上がった土手のような土塁、土塁の外側などに地面を掘りこんだ堀、そしてそれらで区画された郭（くるわ）など城を構成するものや、城に関する地名、城にまつわる伝承などについても解説したいと思います。皆様、お楽しみに。





右…小金城跡の土塁  
左…戦国時代の江戸城の想像図


 **日時** 2019年2月24日(日) 12時45分開場、13時～15時

 **場所** アミュゼ柏 会議室B  
柏市柏6丁目2-22 ～柏駅東口より徒歩10分

 **講師** 当会より

 **参加費** 会員：100円、一般：300円(資料代込み)

 **その他** なるべくお申し込み下さい。  
会場に隣接して駐車場はありますが、有料です。

 **問い合わせ** メール：[info@matsugasaki.jo.net](mailto:info@matsugasaki.jo.net)  
または

Tel. 090-3579-5185 (森)

(平日のお問合せは18時以降にお願いいたします)

(C) 手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会



絵図にみられる  
南北朝期合戦時の城  
「笠置寺縁起絵巻」  
(笠置寺蔵)より